

令和5年度鶴巣小学校の教育活動

■ 1 子供も**教員**も、毎日の学校生活に期待感をもつ、「行きたくなる鶴巣小」

- (1) 分かる授業づくりを目指し、基礎・基本の定着を図り、学びの充実感をもてる指導に努めます。
- (2) 子供たちのありのままの存在を受けとめ、共感し、励まし、自己有用感に裏付けられた自尊感情の高まりを目指します。
- (3) 気持ちの良い挨拶や言葉遣いが身に付くよう、日常的な意識付けに努め、「にこり作戦（笑顔で挨拶）」「べこり作戦（お辞儀をして挨拶）」を学校内外で推進します。
- (4) 縦割り活動を推進し、異学年集団におけるリーダーシップや規範意識の高揚を図ります。
- (5) 健康で明るく、個性を生かしながら、チームとして指導力を発揮する教職員集団を目指します。

■ 2 子供も**職員**も、日々の教育活動に充実感をもつ、「やりがいのある鶴巣小」

- (1) 各教科の特性に応じた言語活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びのある学習指導に努め、子供たちの思考力、判断力、表現力を育てます。
- (2) 「学力向上に向けた5つの提言（県教委）」「**児童生徒の学力向上に向けての3つの提言（町教委）**」「分かる授業づくり」「ICTの活用」「ALTの活用」を努力事項として、基礎的・基本的な内容の確実な理解と定着を図ります。
- (3) スキル学習「ステップタイム」「チャレンジタイム」や「放課後自習教室」等で、学習内容の定着と**個別最適な指導**の充実を図るとともに、一人学びの習慣や家庭での学習習慣を育成します。
- (4) **金融教育・金銭教育を推進し、自己の生き方や価値観を磨かせ、より豊かな生活や社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を育成します。**
- (5) 確かな学力を身に付けた児童の育成と教員の授業力向上のために、校内研究及び研究に関連付けた職員研修の充実に努めます。

■ 3 子供と**職員**が、共に歩み教育活動を推進する、「居たくなる鶴巣小」

- (1) 温かな人間関係を土台とした学級づくりに努め、コミュニケーション能力を高めます。
- (2) 友達、職員、地域の方々との関わりの中で、自分の良さに気付かせるとともに、他者への感謝の気持ちや自分が役立つ喜びを実感させ、**不登校を生まない**環境づくりをします。
- (3) 集会活動や学校行事、環境教育活動、お話朝会等を通して、発達段階に応じた命を大切にする心や思いやりの心を育み、**いじめのない**学級づくり、学校づくりを目指します。
- (4) 子供たち一人一人の教育的ニーズに合った**個別最適な指導**や特別支援教育の充実に努めます。
- (5) 元気アップタイムや体育授業等で十分な運動量確保と外遊びを奨励し、体力の向上と心の健康増進を図ります。

■ 4 地域、保護者から信頼され、共に教育活動を推進する、「開かれた鶴巣小」

- (1) 学校だより、保健だより、学級だより、ホームページ等を活用して情報を発信します。
- (2) 感染症対策や安全面への配慮を十分に行った上で、授業や学校行事等、教育活動全般を積極的に保護者や地域に公開し、「チーム鶴巣小学校」としての一体感を高めます。
- (3) 学習支援ボランティア、地域コーディネーター等の地域教育資源を活用し、地域に根ざした学校として協働教育を推進し、鶴巣小学校ならではの特色ある教育活動を展開します。
- (4) ユネスコ加盟校として、ESDの視点を踏まえた環境教育や防災教育、食育に取り組みます。
- (5) 計画的な健康教育の推進に努め、う歯予防と歯磨きの習慣化を目指し、家庭との連携を図って指導効果を高めるとともに、家庭の生活習慣の見直しを促します。

【協働教育実践例】



稲刈り体験（総合的な学習）



サツマイモ掘り体験（生活科）